

			和歌山県農林水産部水産局水産振興課				
目的		小型底びき網漁業用の荷さばき施設及びしらす船びき網漁業用の荷さばき施設は現在の水揚量及び利用者数に対して適正な規模ではない上、施設が離れて整備されていることにより、それぞれに維持管理や作業時間が余計に発生している。また、それぞれの施設が古く、取水施設も直接海から採水していることもあり、非衛生的であるため、荷さばき施設及び取水施設を適正な規模且つ近傍に再整備し、利用者の作業効率向上、就労環境の改善、衛生レベルの向上を図る。					
目標		作業コストの削減、就労環境の改善			整理番号： 1		
事業実施者		有田箕島漁業協同組合					
実施地区		有田市有田地区					
実施期間及び目標年度		実施期間			目標年度		
		令和元年～令和3年度			令和6年度		
助成金額		H30年度（実施設計費） 47,181,773円 R元年度（工事及び撤去費） 426,113,000円 合計 473,294,773 円					
事業計画の内容		荷さばき施設の整備					
評価	取組の目標（KPI）	漁業所得の増加					
		基準年	（令和3年度時点） 678,486千円				
		現状値	（令和6年度末時点） 668,771千円	増加率	-3%		
		目標値	（令和8年度末） 746,335千円	増加率	10%		
	成果目標	① 漁業者の作業時間の短縮【小型底びき網漁業】 ② ベルトコンベア整備による漁船陸揚げ待ち時間の削減【しらす船びき網漁業】					
		現状値	（整備後） ① 45分 ② ー 分				
		目標値	（整備後） ① 50 分 ② 10 分				
	（１）現状値の説明		成果目標である①漁業者の作業時間の短縮については漁業者へのヒアリング及び県職員による測定により確認しており、適正規模の施設整備により、目標値よりも高い効果が発揮された。また清浄な海水を供給できることにより、衛生レベル向上に繋がっている。 一方で、②に掲げるしらす船びき網漁業用の荷さばき施設は安全性の問題から使用できない状態が続いており、当時、漁協による改修工事により稼働できるよう調整している状態にあったため、現状値の評価はできない。				
	（２）地域への経済効果		小型底びき網漁業用荷さばき施設の整備により漁業者だけではなく、漁協職員や地域及び周辺の仲買人などの作業・労働時間短縮化につながっている。 今後は同一漁港内に併設される産直施設「浜のうたせ」で販売する際に、衛生管理型荷さばき施設で水揚げされた水産物であることを積極的に発信し、「箕島漁港の水産物」の付加価値や知名度向上も図ることで、魚価向上を目指していく予定である。				
	（３）所見		小型底びき網漁業用荷さばき施設においては利用者の作業効率の向上により、作業時間は目標値であった50分よりも短い45分を達成することができた。一方で、しらす荷さばき施設は安全上の問題から評価年度である令和6年度は稼働できていなかったものの、ベルトコンベア2基を改修し、令和7年7月14日から稼働しており、漁労作業軽労化につながっている。令和7年12月末には4基全てを稼働させることで漁業者の就労環境改善等の成果目標の達成に向け、県、市ともに引き続き指導を継続する。 衛生管理については、県、市、漁協が連携して利用者に向けた衛生管理説明会を実施し、施設の運用方法や衛生管理導入の手順を確認した。ハード・ソフトの面から衛生管理基準レベル2相当の取組を徹底し、実際の運用の中でブラッシュアップを重ねて、より一層の向上を目指していくことを期待したい。				
	（４）評価機関の意見等		小型底びき網用荷さばき施設においては成果目標を達成している。今後は箕島市場の衛生管理をさらに高め、周辺漁獲物の集約化を推進することで、取扱量の増加を図り、国内外の競争力を高めていき、事業計画の達成に向け、有田箕島漁協にて本来の施設稼働ができるよう取り組まれない。				
今後の改善方向等に関する分析		しらす荷さばき施設の改修したベルトコンベア2基の安全状況を確認しながら、残り2基を改修し、漁業者の就労環境改善等の成果目標の達成に向け、県、市が連携して指導を継続する。また衛生管理についても荷さばき施設利用者へ衛生管理の徹底を図り、目的達成を目指す。					